

6

学習のねらい②

ドーピングと スポーツ倫理



- なぜ、選手がドーピングに手を出してしまうのかを説明できる。
- スポーツ倫理が求められる理由について説明できる。

キーワード

ドーピング スポーツ精神
アンチ・ドーピング運動
スポーツ倫理

1 ドーピングはスポーツを減ぼす

競技スポーツでは、スポンサーからのばく大な賞金が得られるため、薬物などを摂取するドーピング（禁止薬物使用など）が頻繁に起こるようになりました。近年では、検査体制の強化にともなって、違反の手口もより巧妙になり、いろいろな方法を用いたドーピングがあらわれています。人間の遺伝子を操作しておこなうドーピングがあらわれる日も近いといわれています。

ドーピングは、選手の健康をそこねるだけではなく、本来フェアであるべきスポーツ精神に反する卑劣な行為です（図1）。スポーツの世界で薬物が蔓延すれば、スポーツの価値はそこなわれます。さらに、青少年の薬物摂取に対する抵抗感がうすれると、社会全体に悪影響を及ぼすようになります。

スポーツにおけるアンチ・ドーピング運動を促進することを目的として、1999年に世界アンチ・ドーピング機構（WADA）が設立され、わが国でも、2001年に日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が設立されています。2005年には国連ユネスコ総会でドーピング防止に関する国際規約が採択され、翌年にはわが国も締結しています。スポーツの世界が

図1 ドーピングを報じる新聞記事



らドーピングをなくさなければ、スポーツは滅びてしまいます。いま、世界中でドーピング撲滅^{ほくめつ}の取り組みがおこなわれています。

2 なぜ、スポーツ倫理は求められるのか

スポーツは、取り決められた合意のもとでおこなわれる文化です。だからこそ、薬物を利用して意図的に合意をおかし、自分だけが有利になるろうとすることは許されないのです。また、試合のなかで、意図的に反則をおかして、有利にゲームを進めることも許されません。勝利のためには、何をしても許されると考える勝利至上主義はスポーツそのものを破壊してしまいます。スポーツをフェア^{りんり}におこなうためには、何よりも個人の倫理が求められます^{図2}。

いっぽう、スポーツが社会のなかで注目され、経済的に大きな利益を生み出すようになると、スポーツを利潤追求^{りじゆんついききゆう}の手段だと考える人たちがあらわれてきました。経済的な利益のためだけにスポーツを利用しようとすることは、スポーツの発展にとってはマイナスになる可能性があります。スポーツの価値を高め、いっそう発展させていくためには、社会の側にも倫理が求められます²。

私たちは、人間の英知と力で、スポーツという文化をつくっていかねばなりません。スポーツのなかで何が許され、何が許されないのかを考える、スポーツ倫理[◆]がいま求められています。

① スポーツでルールや対戦相手、審判などを尊重しながら、最後まであきらめずに自己の最善をつくして競技しようとする正しく立派な行為のことをフェアプレイという。そして、このような行為を生む公明正大な心や態度をフェアプレイ精神という。

② スポーツをいっそう発展させていくためには、スポーツにかかわる競技団体、メディア、そのほか、スポーツをみたり、支えたりするさまざまな組織の側にも、スポーツ倫理が求められる。

図2 スポーツ倫理に反する行為



ゲーム中の意図的な反則や暴力、審判員への無謀な抗議、スタジアム内外での暴動など、多くの場面でスポーツの倫理が求められる。



やっ
て
みよう

● ドーピングがなぜ許されないかについて考え、その理由をあげてみよう。



ドーピングについて考えてみよう



1 ドーピングの健康被害にはどのようなものがあるだろうか

本来、薬は病気やけがなどの治療を目的に用いられるものですが、ドーピングを目的として、それを不適切に使用すると、重大な健康被害をもたらすことがあります。たとえば、それは、頭痛、血圧の上昇、^{さくらん}錯乱、あるいは不整脈などから、場合によっては命にかかわるものまで、さまざまです。また、男性では精子数の減少、女性では男性化現象や月経異常が起きることもあります。

これまで、オリンピックをはじめとするさまざまな競技の場面において、ドーピングによってどのような事件が起き、選手がどのような健康被害を受けたのかについて調べてみよう。

2 選手は、なぜドーピングをするのだろうか

あいている吹きだしに入ることがらを考えてみよう。

する選手の気持ち

しない選手の気持ち



3 あなたはドーピングについてどう思いますか

さまざまな観点から話しあってみよう。

- ・健康の観点から
- ・フェアプレイの観点から など